



発行所  
 漁船海難遺児育英会  
 東京都千代田区内神田  
 2丁目2番1号  
 鎌倉河岸ビル内  
 電話 03(254)7543  
 印刷 (株)連合印刷センター  
 電話 03(582)8541

# 特集

## 育英会設立十周年

### 記念事業の紹介

#### 『六つの行事』

財団法人漁船海難遺児育英会は、文部大臣・農林(現・農林水産)大臣の認可を得て、昭和四十五年十月二十九日に設立され、本年は設立十周年を迎えます。

この十年間に、育英会に寄せられた漁業関係者を始め、一般国民の皆様からの暖かい御支援に対し、心からお礼申し上げます。おかげ様で、事業内容は設立当初に比べ離世の感のいたすほどの改善が実現いたしております。

誕生して十年。平坦とはいえない十年の歩みでしたが、この大きな節目を迎えた喜びはひとしおであり、次の発展に向けて新たな決意が湧いています。本号は、十周年を記念して企画した記念事業を紹介する、特集号とします。

#### 六つの行事

○ 設立十周年記念海洋画チャリティー展

#### 設立十周年記念

#### 海洋画チャリティー展

日時 昭和五十五年七月十六日(水)、十七日(木)、十八日(金)、各午前十時から午後五時三〇分まで  
 場所 東京都千代田区内神田一丁目一十二 コープビル地下展示場

## 在学奨学生に対する

### 十周年記念品の贈呈

全奨学生とともに、この十周年を祝うのに全奨学生が一方所に集まってしまうことはとてもできません。これに替えて、育英会と漁船海難遺児を励ます各都道府県の地方協議会から、記念品を贈呈し、十周年を喜び合うこととしました。

この行事の実施は、十周年記念品の贈呈要領に基づき、各地方協議会がその贈呈

## 第二回願書締切り七月三十一日

### 第2集

#### 漁船海難遺児の母・子の文集刊行

奨学生やお母さんの作文・詩歌をまとめた文集は、すでに第一集を昭和五十年本会設立五周年を記念して「だつこ」でもらったかた」と題し刊行しております。この第一集は、各方面からの要望が多く現在残部はありません。また、この文集に収められた母・子の声が、社会に対し遺族生活の実情を訴え、特に、漁業の現場で働いておられる従事者の皆さんに、事故の防止・人命の尊さを強く訴えている力は高く評価されております。今回は、第二集です。第一集の経験の上に立って、よりよい文集にしたいと願っております。

今回の募集要領は、すでに各家庭に一部づつお届けしてありますので、説明を要しないと思いますが、次の要領で応募してください。

原稿の長さ 四〇〇字詰め原稿用紙十枚程度、三枚程度の範囲内  
 テキスト 書き、三枚程度の範囲内  
 課題 特につけていないが、お父さんについて、また、お母さんへの感謝の気持ち、皆さんの将来の希望等、現実の生活の中から自由に書いてください。  
 作文のほか詩・歌も是非送ってください。

それぞれ工夫をこらした記念品又は行事を行います。贈呈の対象者は、現在育英会の奨学生及び現在在学している遺児が、現に高等学校に在学している遺児も含まれます。また、給・貸与金を漁協から受取っていない郵便局・銀行扱い奨学生及び日本遠洋底曳網漁業協会の各支部扱い奨学生も在住する各県地方協議会から全員一律に贈呈されます。

公表 公表の日は、本会設立の日、本年十月二十九日  
 原稿締切日 公表の日が定められており、伸ばすことはできませんので、七月二十日までに育英会へ必着するよう願います。編集、印刷、製本とでき上がるまでにかなりの時間がかかります。原稿の送り方もよりの漁協にとどければ送ってくれます。郵便局・銀行扱いの奨学生は漁協に頼むか、又は育英会へ直接送ってください。

寄稿者 記念品 寄稿された奨学生、卒業生、お母さんすべてに、文集とささやかですが記念品を贈呈します。

(注) 五周年記念文集には、県によっては、一人も寄稿者がいなかったところがあり、公表したのちこのことに気づき、関係者が残念がられたケースがありました。今回は、このようなことのないよう皆さんで立派な文集をつくりたいと願っております。漁協、県連等地方協議会関係者にはよろしく指導方お願いします。

この行事が、十周年記念事業の最大の行事です。この行事には、奨学生とお母さんの全員に参加していただきたいのですが、三千人を超える人数が1か所に集まり宿泊して行事を行うことは残念ながら不可能です。そこで、中学二年生を中心に、県によっては中学一年生又は三年生あるいは高校生が代表して、参加することになりました。

このように、参加者奨学生をしばっても約三五〇名の代表が全国から集まりますが、参加された皆さんにとってこの記念行事が一生の思い出となるよう、漁協及び県漁連等地方協議会の関係者をはじめ私ども育英会事務局並びに全国協議会(全漁連等関係団体)が一体となって努力いたしますので、お母さん御家族の皆さん安心して参加させてください。

行事の内容や奨学生・引率者の参加上の注意事項についてのべておきます。

行事の名称 財団法人漁船海難遺児育英会設立十周年記念「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」  
 開催日 昭和五十五年八月二十九日(金) 同三十日(土)  
 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町三十一)

## 『漁船海難遺児を励ます全国のつどい』

— 8月29日・30日 —

国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて

行事内容 二十九日・奨学生全国交流の夕べ  
 三十日・第一部設立十周年記念式典、第二部 ささきいさをを囲む楽しいひと時及び都内見学合センター内宿泊棟(引率者も同宿)

なお、式典等の内容をもう少し説明しますと、第一部式典には来賓として、皇太子殿下同妃殿下の御臨席をいただき、直接奨学生に対し励ましのお言葉を賜る予定です。また、関係大臣も御出席となり励ましの言葉をいただきます。主催者側(励ます側)としては、育英会理事等役員をはじめ、漁船海難遺児を励ます全国協議会構成団体役員、漁業協同組合連合会同信漁連の会長並びに各県漁協婦人会長等、関係団体の代表が多数出席されます。また、この式典では、中学生代表、卒業奨学生代表がそれぞれ生活体験等を主題にした作文の朗読発表がおこなわれ、最後に卒業奨学生代表が答辞を行います。代表に選ばれた奨学生は、頑張ってください。

第二部は、アニメーション宇宙戦艦ヤマト等の主題歌を歌い、声優としても活躍しているささきいさおさんに、約一時間皆さんと楽しく歌ったりお話しをしていただきます。

午後からは、バスで都内見学(NHK放送センター等)をし、見学終了後は、このバスで東京駅・上(二頁へ)

## 漁船海難遺児を励ます運動

### 十年の歩み編さん刊行

財団法人漁船海難遺児育英会が設立されるまでの経緯、基金造成の過程、事業の内容とその改善のあと、及び漁船海難遺児を励ます全国協議会、同地

都道府県別奨学生数

(昭和55年6月末現在)

Table with columns for Prefecture (都道府県), Scholarship Type (奨学金種別), and Student Count (人数). It lists 47 prefectures and their respective numbers of students across various categories like '奨学金給与奨学生' and '55年度第1回新規採用者'.

(注) ( )内は、特殊児、外数である。

「(一頁より)野駅に行き、帰路に着く予定でコースを選定しております。なお、式典の様子はテレビ放映される予定です。」

参加者への連絡事項

「全国のついで」に参加される奨学生には「参加者のしおり」を前もってお渡しますので十分に読んでおき、集団行動において一番大切な規律を重んじ、お互いに協力し合い、行動してください。

服装については、参加するために新調したりせずに、学校で定められている夏の服装に統一します。靴も通学に使用している運動靴を使用してください。

全国交流の夕べ及び宿泊室内は、学校で定められているトレパン・トレシャツを用いることとします。いずれも普段使用しているものを清潔に心がけて着用してください。

宿泊場所は、昭和三十九年に日本で開催されたオリンピック大会の選手村

として作られた施設ですが、大会終了後は、青少年育成のための研修施設として広く利用されています。したがって、宿泊場内での生活は規則正しい生活が求められ、同時に利用者の自主性を重んじた運営を行うよう定められております。

全国的な規模で行うこのような行事のため、いろいろ御協力をいただくことが多く御負担と御苦勞をおかけしますが、よろしくお願いいたします。以下、特にお願いしたい点をあげておきます。

東京に上京した機会を利用して、東京におられるお兄さんお姉さんに面会を希望する人は、前もって面会申込書を提出してください。面会は第一日目(八月二十九日)の夜、宿泊場内の所定の場所ですることができませんが、外出しての面会はできません。申込書については、出発するまでに漁協を通じてお渡しします。

奨学生の引率に関する責任を明確にしておいてください。奨学生の家から県漁連が指定した場所までの間は、往復とも漁協引率者をお願いし、指定の場から東京の会場まで及び会期中は県漁連の引率者をお願いいたします。

今回の行事では、郵便局、銀行扱い奨学生及び日本遠洋底曳網漁業協会各支店の奨学生もすべてそれぞれの県一本で行動を取るようにお願いしてありますので、奨学生及びそのお母さんは担当県漁連等の指示にしたがって準備と、行動してください。

奨学生の健康には、当然十分な注意を払っていただかなければなりません。が、会場・宿泊所等には、看護婦さん

引率者へのお願い

「漁船海難遺児を励ます全国のついで実施要領」同細則である「引率者のしおり」により御指導願います。また、事務局には常

備も備えておきます。宿泊所に到着してからの行動は、引率者のしおりにあります細部日程の時間割で進行します。多勢の奨学生が一挙に行動するので、自県の奨学生を十分把握指導願います。

あしたの海

記念映画製作

十月二十九日試写会

海難事故がもたらす遺族生活、その困窮遺族に対する理解をさらに求め、父のあとを継ぎ海で働く卒業奨学生たちのたくましい姿を通じ、育英事業の成果を知らせ本会事業の一層の協力を

募金・寄附金お礼

皆様から暖かい募金・寄附金をよせられ、厚くお礼申し上げます。一般寄附の御芳名が紙面の都合上、逐次くり上げとなりましたが、今号で全部掲載となりましたので、よろしく御了承のほどお願い申し上げます。

※ 御芳名(敬称略) 一、漁協系統募金(系統扱い寄附金含む) (四月) 宮崎県 (五月) 富山県(富山県北洋漁協) 香川県(小田喜代志・香川県大川郡) 静岡県(静岡県信漁連会長理事齊藤治郎左衛門・御母堂香典返し) 京都府(桐村豪一・御尊父香典返し) 三重県(浜田幸吉・三重県鳥羽市) 三重県(浜口多朗・三重県志摩郡) 岡山県 (六月) 京都府(滝本博康・御尊父香典返し) 京都府(茨城県) 熊本

二、一般寄附 (十二月) (前号のつづき) 岡山県(大阪府和泉市) 海洋生物

お願いする。と同時に、遺族が心からの願いである海難防止の訴えと祈りを社会の人々にしつてももらい、事故のな

一同▽南西海区水産研究所一同▽吉村ファミリ(大阪府箕面市)▽水産庁照洋丸小林豊▽水産庁東光丸一同▽東和電機製作所(全漁連東北支所経由) (二月) みのり幼稚園母の会(東京都新宿区)▽日本水産トロール船事業員一同(全日海戸畑支所経由)▽アサヒテックスKK(東京都三鷹市)▽安田生命保険KK▽全国海苔貝類協同組合連合会▽全国水産物商業協同組合連合会▽全漁連鹿児島工場▽宝洋海運産業(株)船部吉田幸吉▽漁船保険中央会▽早川さとし(東京都新宿区)▽小島(兵庫県赤穂市)▽田平喜和子(兵庫県宝塚市)▽富士ゼロックスKK (三月) 全日海新潟支部・東北地方支部青森分室・稚内支部募金箱(全日海経由)▽宝洋海運産業(株)タグボート乗組員一同(全日海経由)▽富士ゼロックス(株)江東出張所▽合沢洋子(育英会)▽佐藤幹児(海洋画家)▽水島港タグボート関係者一同・全日海水島支部(全日海経由)▽早川りほ(東京都新宿区)▽全国漁業協同組合学校第四十期学生自治会▽全漁連指導事業会計部▽宝幸水産KK宝水会▽全国水産加工業協同組合連合会▽日本トロール底魚協会▽全国水産物商業協同組合連合会▽全国漁業協同組合連合会 (四月) 全日海呉支部・水島支部・三崎支部募金箱(全日海経由)▽早川いさ(東京都新宿区)▽鈴木二郎(神奈川県横浜市)▽大洋漁業KK▽宮城県漁業従事員組合(漁船同盟経由) (五月) 日本水産(株)船舶部々長千葉胤英▽匿名(小岩)▽全国まき網漁業協会々々長金子岩三▽小田切道子(東京都調布市)▽全日海四国地方支部(全日海経由)▽海文堂出版KK▽マツク商事募金箱▽早川豊彦(東京都新宿区)▽全国鮭鱒鱯漁業協同組合組合長理事川端元治▽鈴木二郎(神奈川県横浜市中市)▽英敦子(香川県善通寺市)▽遠洋水産研究所俊鷹丸一同▽小野貞(東京都千代田区)▽児玉雅也(東京都世田谷区)▽曾我正男(愛知県名古屋)▽水産庁沖合課一同▽早川豊彦(東京都新宿区)▽豊田幸生(静岡県)▽鈴木

撮影 井上健朗ほか 音楽 吉岡しげ美 解説 奈良岡朋子(劇団民芸) 映画の規模 十六ミリ、カラー、三分 試写会 本会設立の日、本年十月二十九日、コープビル予定

環境研究所一同▽瀬戸内海漁業調整事務所一同▽全漁連東北支所一同▽東京水産大学職員一同▽徳井利信(養殖研究所日光支所長)▽農林水産大臣武藤嘉文▽漁業情報サービセンター▽北海道水産研究所一同▽土田明子(岐阜県岐阜市) (一月) 丹羽啓裕(静岡県浜松市) 山梨県水産物商業協同組合▽桜井光男(東京都練馬区)▽大阪府立身体障害者福祉センター附属病院有志一同▽岡田正幸(大阪府寝屋川市)▽養殖研究所一同▽全漁連・全水共・漁漁連クリスマスパティイ募金▽合志美代子(兵庫県神戸市)▽杉浦由男(愛知県刈谷市)▽水産社KK▽岐阜水産物商業協同組合▽全漁連役員一同▽全日海三崎支部▽全日海本部募金箱・鹿児島支部募金箱・串木野海上保安部いつもり会(全日海経由)▽匿名(大阪府豊中市)▽英敦子(香川県善通寺市)▽遠洋水産研究所俊鷹丸一同▽小野貞(東京都千代田区)▽児玉雅也(東京都世田谷区)▽曾我正男(愛知県名古屋)▽水産庁沖合課一同▽早川豊彦(東京都新宿区)▽豊田幸生(静岡県)▽鈴木